

プロジェクト名	知縁のにぎわいづくりプロジェクト会議	
設置日	平成26年3月27日	
目的	県庁周辺地域では、新JAビル及び滋賀県危機管理センターの建設工事、県有地がNHK新大津放送会館決定、平成26年内の民間事業者公募など、土地利用転換が進められている。これらの動向を踏まえ、地域価値向上のための事業展開やデザインコードなどを提案する。	
活動内容 (予定含む)	①地域価値向上のための事業展開の検討 (オープンスペース・公共空間の利活用、まちかどサロンの整備・運営など)  ②デザインコードの検討	
2期計画の位置づけ ※該当する方針にチェック	<input checked="" type="checkbox"/> (基本方針1) 大津駅前・湖岸を結ぶ都市機能の集約・複合化 <input type="checkbox"/> (基本方針2) 大津百町の歴史・文化を生かす暮らしとにぎわい創出 <input type="checkbox"/> (基本方針3) 琵琶湖を生かす観光と環境共生のまちづくり  【該当事業又は関連事業】 県庁周辺県有地活用事業、滋賀県危機管理センター整備事業	
人数	8	
リーダー	秋村 洋	(株)まちづくり大津 取締役
サブリーダー	松本 勝正	滋賀県 総合政策部技監
プロジェクト委員	友次 康裕	NHK大津放送局 副局長
	深尾 善夫	JA滋賀中央会 常務理事
	岡田 英基	滋賀県 総合政策部 企画調整課 参事
	松澤 秀夫	大津市 都市計画部 都市再生課 課長
	北田 敦士	大津市 都市計画部 都市再生課
	小西 元昭	テナントミックス事業経験者
適用・特記事項	検討の進捗を踏まえ、関係者を随時、メンバーとして追加する予定。	

# 知縁のにぎわいづくりプロジェクト 平成 26 年度活動報告

## 1. 第 1 回ワーキング会議を開催

開催日：平成 26 年 5 月 12 日

県企画調整課、㈱まちづくり大津、市都市再生課の担当者にて実施

### 【内容】

#### (1) プロジェクト会議の進め方の検討

まずは㈱まちづくり大津がどんなことができるかを 1 年かけて検討する。

- ・ NHK の新社屋は、1 階はフリースペースとなる予定。
- ・ エリアのデザインコードや県庁周辺の特徴である空間（スペース）をどのように活用していくかを検討していく。

⇒ 専門家を講師として招き、勉強会を実施

#### (2) ポートランド『パールディストリクト』の事例報告

アメリカオレゴン州ポートランド市は、10 年～15 年で再生し、アメリカで一番住みたい街として世界的にも有名。PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）という官民連携が特徴。

日本のようにゾーニングされておらず、都市の多様性を特徴としており、オフィスや住宅、カフェが混在する（ミクストユース）ことで多様な目的を持った人たちがその地域を行き来することにつながり、交流の機会に繋がっている。

クリエイティブシティとしても有名で、街には多くのクリエイターが集まっている。

## 2. 県有施設のリノベーションにむけた研修会に参加（公民連携事業機構主催※国交省支援事業）

### 家守ブートキャンプ（6月23日～25日）に参加

- ・ エリア（施設単体ではなく、200m 四方で囲まれた空間）でビジョンや事業コンセプトを考える
- ・ 大津の中心市街地の課題を分析し、真に必要なものを整備する。
- ・ できることから、取り組みを進め、小さな成功体験から大きな事業へと進める。
- ・ 8 月 21 日～24 日北九州リノベーションスクールに参加予定。

## 3. 県庁周辺エリアの整備の方向性

県有施設に限らず、道路や公園といった公共空間および、その周辺の空家・空スペースを把握し、エリアのビジョンを再検討することから始める。